

第11回ちびっ子サッカー大会（4. 3年生）競技規則細則

1. 競技規則

(1) 試合時間

・10-1-10分(3年生)及び12-3-12分(4年生)とする。

(2) 人数

・ゴールキーパー1名、フィールドプレーヤー7名の8人制で行う。
・6名に満たないチームは不戦敗とする。

(3) 交代

・自由な交代とする。
・インプレー、アウトオブプレーに関わらず、交代ゾーンからいつでも交代できる。
但し、交代する競技者がピッチを出てから交代要員の競技者が入ること。
違反した場合は以下の①から④の手順で対処する。
①プレーを停止する。
②交代する競技者をピッチの外に出す。
③交代要員に警告を与える。
④試合を停止した時にボールがあった場所から、相手チームの間接フリーキックで再開する。

(4) 用具

・試合球は検定4号球(両チーム持ち寄り)とする。
・ユニフォームは正副2着用意する。
・キーパーはフィールドプレーヤーと違う色のユニフォームを用意する。(ビブス可)
・スパイクは固定式(トレシュー、運動靴も可)とし、スネ当てを必ず着用する。

(5) キックオフ

・キックオフからの直接のゴールインは認めない。
・直接ゴールインした場合は相手チームのゴールキックで再開する。

(6) フリーキック(直接・間接)

・相手競技者は6m以上離れなければならない。
・反則の位置が6m離れられない場合はゴールライン上まで離れる。

(7) スローイン

・ボールがタッチラインを割った場合は、相手チームのスローインで再開する。
・スローインからの直接ゴールインは認めない。ゴールインした場合は相手チームのゴールキックで再開する。

(8) ゴールキック

・攻撃側がゴールラインからボールを出した場合は、ペナルティエリア内の任意の位置から守備側のフリーキックで再開する。
・ゴールキックからの直接のゴールインは得点と認める。

(9) ゴールキーパー

・ゴールキーパーが保持したボールはパントキックする事が出来る。
・ゴールキーパーのパントキックからの直接のゴールインは得点と認める。
・ゴールキーパーのパントキックおよびキーパーズローがハーフラインを越えても良い
・味方からのバックパスを直接手で扱う事は出来ない。違反の際は相手競技者に間接フリーキックを与える。

(10) コーナーキック

・コーナキックはコーナーアーク内にボールを置いて行う。
・その再、相手競技者は6m以上離れなければならない。

(11) リーグ戦

- ・リーグ戦の順位決定は、勝3点、分1点、負0点の勝点により勝点の多い順に決定する。勝点が同一の場合①得失点差②総得点③当該チームの対戦成績。それでも決しない場合はPK戦を行う。PK戦は3人によるPK戦方式。

(12) トーナメント戦

- ・引き分けはPK戦方式で決定する。PK戦は3人によるPK戦方式。

(13) その他

- ・オフサイドルールは適用する。
- ・審判は3人制(R、A1、A2)とする。
- ・反則と不正行為は2017年8人制の日本サッカー協会の競技規則に準ずる。
- ・ファールや不正行為で競技者が退場を命じられた場合、その競技者のチームは競技者を補充することができる。

2. 競技場

*ゴールは少年用ゴールを使用

